

常用漢字表記辞典

Dictionary of
Chinese Characters in Common Use

佐藤喜代治 監修
加藤彰彦 編
飛田良文

常用漢字表記辞典

佐藤喜代治監修
加藤彰彦編
飛田良文

桜楓社

佐藤喜代治（さとう・きよじ）

大正元年、宮城県に生まれる。

東北帝国大学法文学部卒業。建国大学・神宮皇学館大学各助教授を経て、現在、東北大学名誉教授、フェリス学院大学客員教授。元国語審議会委員。国語学専攻。

加藤彰彦（かとう・あきひこ）

昭和3年、東京都に生まれる。

東京大学文学部大学院修了。文部事務官、千葉大学留学生部助教授、文部省教科書調査官を経て、現在、実践女子短期大学教授。国語学、日本語教育専攻。

飛田良文（ひだ・よしふみ）

昭和8年、千葉県に生まれる。

東北大学大学院修了。同大学文学部助手を経て、現在、国立国語研究所言語変化研究部長。国語学専攻。

省 検

略 印

常用漢字表記辞典

特別定価

九八〇円

（昭和五八年七月末日迄）

定価 一二〇〇円

昭和五八年二月五日

初版印刷

昭和五八年二月一日

初版発行

監修者

佐藤喜代治

編者

加藤 彰彦
飛田 良文

発行者

道坂 春雄

株式会社

桜 楓 社

101 東京都千代田区猿樂町二一八—十三
電話（〇三）二九五—八七七一（代）

1592-830220-0723 Printed in Japan

© AKIHIKO KATO, YOSHIFUMI HIDA

印刷 暁印刷(株) 製本 大口製本

造本には充分注意しておりますが、落丁乱丁などございましたら、発行所かお買い上げの書店でおとりかえします。

編集のことは

昭和56年10月「常用漢字表」が告示され、国語の書き表し方の新しい目安が決まりました。そこで、前著「当用漢字表記辞典」の書名を「常用漢字表記辞典」に改め、内容を改訂増補しました。

本書の特色は、日常の書く生活に必要な基本的な語いを豊富に提示し、漢字の音訓ごとに、五十音順に配列した点にあります。したがって、音からは、その漢字を含む熟語を一覧することができます。例えば、声（セイ）を引くと、「声韻、声援、声価、……／音声、佳声、拡声器、……」のように、その漢字が語頭、又は語中・語尾に用いられている語例が集められています。訓からは、その訓から成る複合語が一覧できます。例えば、こえ（声）を引くと、「うなり声、うめき声、大声、掛け声、金切り声、小声、しわがれ声、どなり声、……」といったように、関連のある複合語の集合をみることができます。そして、それらの語いの標準的な表記、及び、異字同訓の漢字の使い分けについても示してあります。

また、付録には、国語を書き表すために必要な資料を豊富に掲げました。

ですから、教育関係・出版関係はいうまでもなく、外国人に対する日本語教育に携わっている方、広く文筆に関心のある方、また学生や一般家庭の方々にも有用であろうと信じます。

昭和58年1月25日

監修者 佐藤喜代治
編者 加藤 彰彦
飛田 良文

この辞典の使い方

【この辞典のねらい】

この辞典は、常用漢字がどのような語の表記に用いられるか、その漢字の用法と、その語の標準的な表記を示すことを目的として編集した。したがって、見やすいように活字の大きさを考慮し、書く生活に役立つ語を集め、漢字辞典と表記辞典との性格を兼ねた。

そこで、語例は、現代の基本的な語いを、わかりやすく豊富に提示することに努め、告示・法令用語・教育関係の用語にも意を用いた。また、異字同訓がある場合は、使い分けを示す用例を加えた。

【見出しの漢字】

1. 常用漢字を見出しとし、配列は、常用漢字表の順序に従った。したがって、その漢字の主な音による五十音順である。訓しかない漢字については、その訓で配列してある。
2. 見出しの漢字の左側にある数字は、常用漢字表の漢字の順序に従って付けた通し番号で、1から1945までである。

字形索引・音訓索引・筆順表とも、すべて、この通し番号で統一し、利用しやすいように工夫した。

【用例の配列】

語いは、漢字ごとの音訓別に掲げた。配列は五十音順としたが、斜線の前は、その漢字が語頭にくる場合、斜線の後はその字が語中あるいは語尾にくる場合を示す。

【語の表記】

語の表記は表外字・表外音訓の字・あて字を区別し、書き換えの漢字には旧字を参照できるようにした。また、送り仮名は、本則・許容・例外が認められているので、それらを区別し、法令用語には⑥を付けるなどの工夫をこらした。読み誤りやすい語には、適宜、振り仮名を付けた。

【本書の表記を示す符号】

〈 〉……常用漢字表外字、又は表外音訓の字、あて字であることを示す。

例 おう歌〈謳歌〉 絹ごし〈絹漉し〉 義援金〈義捐金〉
かわいそう〈可哀相〉 やにわに〈矢庭に〉

《 》……「同音の漢字による書きかえ」（昭和31年7月5日 第32回国語審議会総会報告）によって書きかえられた、もとの表記を示す。

例 食欲《食慾》 希硫酸《稀硫酸》

()……送り仮名の許容の付け方を示す。許容が二通り以上あるときは、・(ナカグロ)でくぎってある。

例 打ち合わせ(打ち合せ・打合せ)

[]……編者が通則7(慣用が固定している)と認めた場合、通則6に従った場合の書き方を示す。

例 立見席〔立ち見席〕

㊦……法令・公用文における送り仮名の付け方であることを示す。

例 ㊦買値…告示と同じ通則7を適用した場合。

買い物(㊦買物)…()内は、通則6の許容を適用した場合。

㊦買手〔買い手〕…〔 〕外は、告示の例のほかに、原則7を適用した場合。

〔副〕……副詞としての使い方を示す。

例 挙げて〔副〕

〔接〕……接続詞としての使い方を示す。

例 従って〔接〕

【注記・参照】

〔注〕……常用漢字表の備考欄に記されている注や、付表の例、公用文での表記のしかたなどについて記す。

* ……句・文および異字同訓の使い分けの用例を示す。

⇒ ……異字同訓について、参照すべき文字と番号を示す。

【索 引】

本書を利用しやすいものにするため、**常用漢字音訓索引**をつけた。漢字の音または訓の両方によって、検索することができる。なお、索引の番号は、すべて見出し漢字の通し番号で統一してある。また音訓の読みかたがわからなくても検索できるように**字形索引**をつけた。

【付 録】

現代日本語の表記について、その基準となる内閣告示、及びそれに準ずるもの12種を収録した。

〔1〕 常用漢字表	495
〔2〕 人名用漢字別表	502
〔3〕 国語審議会答申 前文（抄）	505
〔4〕 現代かなづかい	509
〔5〕 送り仮名の付け方	527
〔6〕 公用文における漢字使用等について	536
〔7〕 法令における漢字使用等について	541
〔8〕 同音の漢字による書きかえ	547
〔9〕 学年別漢字配当表	554
〔10〕 教育漢字の筆順	557
〔11〕 ローマ字のつづり方	578
〔12〕 常用漢字表までの歩み	580

常用漢字表記辞典

ア行……………7	ハ行……………373
カ行……………32	マ行……………438
サ行……………152	ヤ行……………453
タ行……………300	ラ行……………466
ナ行……………363	ワ行……………489

1 亜^ア 亜鉛, 亜熱帯, 亜麻, 亜流, 亜硫酸／東亜。

2 哀^{アイ} 哀感, 哀歎, 哀願, 哀史, 哀愁, 哀惜, 哀切, 哀訴, 哀調, 哀悼, 哀樂, 哀れん〈哀憐〉, 哀話／悲哀。

あわれ 哀れ, 哀れがる, 哀れた, 哀れっぽい, 哀れな話。

あわれむ 哀れみ, 哀れむ。

3 愛^{アイ} 愛育, 愛飲, 愛煙家, 愛がん〈愛玩〉, 愛棋, 愛きょう〈愛嬌〉, 愛敬, 愛郷, 愛吟, 愛くるしい, 愛犬, 愛顧, 愛護, 愛好, 愛国, 愛妻, 愛児, 愛し合う, 愛執, 愛称, 愛唱, 愛情, 愛人, 愛する, 愛惜, 愛染, 愛想^ま, 愛憎, 愛想尽かし(愛想尽し), 愛着, 愛鳥週間, 愛読, 愛猫, 愛ぶ〈愛撫〉, 愛用, 愛欲〈愛慾〉, 愛らしい／求愛, 敬愛, 最愛, 慈愛, 情愛, 親愛, 相愛, ちょう愛〈寵愛〉, 熱愛, 博愛, 偏愛, 母性愛, 盲愛, 友愛, 恋愛。

4 悪^{アク} 悪意, 悪疫, 悪害, 悪業, 悪妻, 悪事, 悪疾, 悪質, 悪性, 悪戦, 悪相, 悪態, 悪投, 悪党, 悪童, 悪徳, 悪どい, 悪人, 悪ば〈悪罵〉, 悪筆, 悪評, 悪癖, 悪魔, 悪夢, 悪名, 悪役, 悪用, 悪らつ〈悪辣〉, 悪例, 悪霊, 悪路, 悪化, 悪貨, 悪口, 悪行／改悪, 害悪, 旧悪, 凶悪〈兇悪〉, 陰悪, 最悪, 罪悪, 邪悪, 醜悪, 俗悪。

オ 悪寒／嫌悪, 好悪, 憎悪。

わるい 悪あがき, 悪い, 悪賢い, 悪気, 悪口^{くち}, 悪さ, 悪擦れ, 悪だくみ〈悪企み〉, 悪知恵, 悪びれる, 悪ふざけ, 悪者, 悪酔い(悪酔)。

5 握 アク 握手，握力／掌握，把握。
にぎる 握り，握りこぶし〈握り拳〉，握り締める，握りずしく握り鮎〉，握りつぶす〈握り潰す〉，握り飯，握る／一握り。

6 圧 アツ 圧延，圧巻，圧搾，圧縮，圧する，圧制，圧政，圧倒，圧迫，圧伏，圧服，圧力／気圧，血圧，高圧，水圧，制圧，弾圧，鎮圧，電圧，抑圧。

7 扱 あつかう 扱い，扱い慣れる，扱い品(扱品)，扱う／客扱い(客扱)，取り扱い(④取扱い・取扱)，④取扱所，④取扱注意，④事務取扱，取り扱う(取扱う)，④荷扱場，持ち扱う，持て扱う。

8 安 アン 安易，安逸《安佚》，安価，安閑，安危，安座，安産，安住，安心，安心立命，安静，安全，安息，安泰，安置，安直，安定，安どく安堵〉，安穩^{のん}，安否，安眠，安楽／慰安，公安，治安，平安朝，保安，不安，疏安。

やすい 安上がり，安い，安請け合い(安請合い・安請合)，安売り(安売)，安酒，安手，安値，安物，安らかだ，安らぎ，安んじる／格安，心安い，目安，割安。

9 案 アン 案外，案出，案ずる，案内，案内係，案内掛，案^{じょう}の定，案配，案文，案分《按分》／懸案，原案，公案，考案，思案，新案，図案，草案，創案，提案，同案，発案，文案，法案，翻案，立案。

10 暗 アン 暗《闇》，暗々裏，暗うつ〈暗鬱〉，暗雲，暗雲低迷，暗影

《暗翳》，暗きょ<暗渠>，暗愚，暗君，暗合，暗号，暗黒，暗黒大陸，暗殺，暗算，暗紫色，暗示，暗室，暗唱《暗誦》，暗礁，暗たん<暗澹>，暗中摸索，暗転，暗に〔副〕，暗黙，暗夜《闇夜》，暗躍，暗流／疑心暗鬼，明暗。

くらい 暗い，暗がり，暗やみ<暗闇>／後ろ暗い，薄暗い，お暗い，こ暗い，ほの暗い。

11 以_イ 以下，以外，以後，以降，以上，以心伝心，以西，以前，以東，以内，以南，以北，以来。

13 位_イ 位階，位地，位置／栄位，下位，各位，学位，次位，主位，首位，順位，上位，水位，退位，第一位，単位，地位，品位，方位，本位，優位。

〔注〕「三位一体」，「従三位」は，「サンミイッタイ」，「ジュサンミ」。

くらい 位，位する，位取り(位取)／氣位。

〔注〕公用文では，「〇歳ぐらいの人」と表記。

12 衣_イ 衣冠，衣装<衣裳>，衣食住，衣鉢^{はつ}，衣服，衣料，衣類／黒衣，作業衣，囚衣，脱衣，着衣，天衣無縫，白衣，病衣。

〔注〕浴衣(ゆかた)。

ころも 衣，衣替え(衣替)／羽衣。

14 囲_イ 囲碁，囲炉裏／胸囲，四囲，周圍，範圍，腹囲，霧囲氣，包囲。

かこむ 囲み，囲み欄，囲む／取り囲む(取囲む)。

かこう 囲い、囲う。

15 医 イ 医院，医学，医学博士，医科大学，医業，医師，医者，
医薬，医療／軍医，外科医，獣医，女医，船医，村医，
名医。

16 依 イ 依願，依願退職，依拠，依然，依託，依頼／ひょう依
〈憑依〉。

エ 帰依，所依。

17 委 イ 委員，委曲，委細，委譲，委嘱，委託，委任。

18 威 イ 威圧，威嚇，威儀，威厳，威光，威信，威勢，いばる
〈威張る〉，威風，威力，威令／脅威，權威，国威，示
威，勢威，暴威，猛威。

19 胃 イ 胃液，胃下垂，胃酸，胃弱，胃腸，胃病，胃袋，胃壁。

20 為 イ 為政者／有為，行為，作為，所為，人為的，無為。
〔注〕為替(かわせ)。

21 尉 イ 尉官／一尉，大尉。

22 異 イ 異義，異議，異境，異郷，異^{ぎよう}形，異^く口同音，異国，異
国情緒，異彩，異質，異臭，異状，異常，異色，異人，
異数，異性，異存，異端，異端児，異兆，異朝，異同，
異動，異聞，異変，異母弟，異^{みよう}名，異様，異例，異
論／怪異，奇異，驚異，差異，大同小異，特異，天変地
異，変異。

こと 異なる，異にする。

23 移^イ 移管, 移行, 移住, 移出, 移譲, 移植, 移籍, 移駐, 移転, 移動, 移入, 移封, 移民／推移, 転移。

うつる 移り香, 移り変わり(移り変り), 移り気, 移る／飛び移る(飛移る), 乗り移る(乗移る), 引き移る(引移る)。

うつす 移し替え(㊤移替え), 移す／島移し, 引き移し(引移し), 引き移す(引移す)。

24 偉^イ 偉観, 偉勲, 偉功, 偉効, 偉業, 偉才, 偉材, 偉人, 偉大, 偉容, 偉力。

えらい 偉い, 偉がる, 偉物, 偉ぶる／ど偉い。

25 意^イ 意外, 意気, 意気軒こう<意気軒昂>, 意気込み(意気込), 意気込む, 意気消沈, 意気衝天, 意義, 意見, 意向《意嚮》, 意志, 意思, 意地, 意識, 意地汚い, 意地っ張り, 意志薄弱, 意趣返し, 意地悪, 意匠, 意中, 意図, 意表, 意味, 意味合い(意味合), 意味深長, 意味付ける, 意識, 意欲／悪意, 歌意, 片意地, 御意, 敬意, 決意, 故意, 好意, 心意気, 殺意, 賛意, 辞意, 失意, 真意, 誠意, 善意, 創意, 総意, 他意, 大意, 注意, 敵意, 同意, 得意, ㊤取扱注意, 生意気, 熱意, 発意, 不意, 文意, 本意, 用意, 留意。

[注] 意気地(いくじ)。

26 違^イ 違憲, 違算, 違勅, 違背, 違反, 違法, 違約, 違例／差違, 相違。

ちがう 違い, 違い棚, 違う／入れ違い(入違い), 入れ違う(入違う), 大違い, 掛け違う(掛違う), 勘違い, 食い違い

(食違い), 食い違う(食違う), けた違い<桁違い>, 心得違い, 筋違い, 擦れ違い(擦違い), 飛び違い(飛違い), 飛び違う(飛違う), 場違い, 人違い, 間違う, 見違う, 行き違い(行違い)。

ちがえる 違える／け違える<蹴違える>, 差し違える(差違える), 取り違える(取違える), 寝違える, 履き違える(履違える), 間違える, 見違える。

27 維^イ 維持, 維新／繊維。

28 慰^イ 慰安, 慰謝, 慰謝料《慰藉料》, 慰問, 慰霊, 慰労／弔慰金。

なぐさめる 慰め, 慰める。

なぐさむ 慰み, 慰む。

29 遺^イ 遺愛, 遺詠, 遺戒, 遺がい<遺骸>, 遺憾, 遺棄, 遺業, 遺賢, 遺稿, 遺骨, 遺恨, 遺作, 遺産, 遺志, 遺児, 遺失, 遺失物, 遺書, 遺跡《遺蹟》, 遺族, 遺体, 遺沢, 遺伝, 遺品, 遺物, 遺漏／拾遺, 補遺。

ユイ 遺言。

〔注〕「遺言」は, 「イゴン」とも。

30 緯^イ 緯度, 緯線, 緯北／経緯, 南緯, 北緯。

31 域^{イキ} 域外, 域内／海域, 外域, 境域, 区域, 水域, 帯域, 地域, 流域, 領域。

32 育^{イク} 育英, 育児, 育すう<育雛>, 育成, 育苗／愛育, 教育,

訓育、飼育、生育、成育、体育、発育、保育、養育。

そだつ 育ち、育つ／生い育つ。

そだてる 育て上げる、育て親、育てる。

33 一 イチ 一応、一害、一概、一隅、一芸、一言居士、一座、一次、一時、一事、一時停止、一時逃れ、一時払い(一時払)、一代、一大事、一段、一段階、一度、一同、一堂、一読、一任、一人前、一念、一念発起、一番、一番せんじ<一番煎じ>、一番取り(一番取)、一番乗り(一番乗)、一番目、一部、一部始終、一分づき<一分搗き>、一べつ<一瞥>、一別、一望、一枚刷り(一枚刷)、一まつ<一沫>、一味、一脈、一命、一面、一網打尽、一目、一目散、一目りょう然<一目瞭然>、一門、一文無し、一夜、一躍、一夜作り、一夜漬け、一ゆう<一揖>、一樣、一陽来復、一翼、一覽、一利、一理、一律、一里塚、一流、一両、一輪挿し、一壘、一連、一れんたく生<一蓮托生>、一路／随一、第一、万一、万が一、無一物。

イツ 一家、一介、一角、一画<一劃>、一かく千金<一攫千金>、一喝、一括、一貫、一騎打ち(一騎打)、一気に〔副〕、一挙一動、一挙兩得、一見、一軒家、一顧、一向、一考、一戸建ち、一戸建て、一切、一切合切、一再ならず、一策、一散、一糸、一視同仁、一種、一しゅう<一蹴>、一瞬、一緒、一生、一笑、一生懸命、一所懸命、一触即発、一心、一新、一身、一進一退、一心同体、一睡、一世一代、一斉、一説、一戦、一層、一掃、

一足飛び(一足飛), 一体, 一体全体, 一たん<一旦>, 一端^{たん}, 一致, 一丁《一挺》, 一対^{つい}, 一手, 一定, 一徹, 一転, 一点張り(一点張), 一途, 一統, 一等, 一派, 一杯, 一端^{ばし}, 一半, 一般, 一服, 一变, 一遍, 一方, 一法, 一本立ち, 一本立て, 一本やり<一本槍>/画一, 均一, 好一对, 紅一点, 言文一致, 純一, 斉一, 専一, 単一, 統一, 同一, 唯一。

ひと 一足, 一汗, 一雨, 一荒れ, 一安心, 一息, 一打ち, 一思い, 一抱え, 一重ね, 一方ならぬ, 一切れ, 一際^{きわ}, 一癖, 一口話, 一組み, 一言^{こと}, 一ころ<一頃>, 一しおく<一入>, 一しきり<一頻り>, 一仕事, 一筋, 一そろい<一揃い>, 一度^{たび}, 一つがい<一番>, 一突き, 一月目, 一続き, 一粒種, 一つまみ<一抓み>, 一通り, 一時, 一飛び, 一握り, 一寝入り, 一眠り, 一走り, 一房, 一筆, 一振り(一振), 一幕物, 一まず<一先ず>, 一まとめ<一纏め>, 一回り, 一昔, 一群れ, 一目, 一巡り, 一休み, 一渡り。

〔注〕一人(ひとり)。

ひとつ 一つ, 一つ覚え, 一つ一つ, 一つ目小僧。

〔注〕一日(ついたち)。

34 壱 イチ 壱千円, 壱万円/金壱万円。

35 逸 イツ 逸する, 逸脱, 逸品, 逸楽, 逸話/安逸《安佚》, 散逸, 秀逸, 天下逸品, どど逸<都々逸>, 放逸。

36 芋 いも 芋, 芋づる<芋蔓>, 芋掘り(芋掘)/里芋, 焼き芋, 山